



わたうち

令和6年6月10日
No.4
太田市立綿打中学校



〔令和6年度 学校スローガン〕
全員が主役！誰一人取り残さず 感動と笑顔が輝く 活力あふれる綿打中学校



太田市中体連総合体育大会、頑張りました！

5月25日から始まった太田市中体連総合体育大会。3年生にとっては、部活動の集大成となる最後の戦いでした。チームの目標達成に向けて、精一杯頑張っている生徒の姿はもちろん、試合に出られなくても大きな声を出して仲間を応援している生徒の姿にも感動しました。どの競技も、チームが一丸となって大会に臨んでいました。♪綿打ファイト、ナンバーワン！

結果は以下のとおりです。



「綿打ファイトナンバーワン！」のかけ声で気持ちを一つにしました！

<太田市中体連総合大会の結果>

- ・野球… 1回戦敗退(対:太田中・木崎中合同チーム)
- ・サッカー… 1回戦突破(対:城東中) 2回戦敗退(対:宝泉中)
- ・ソフトテニス男子団体… 予選1位通過(対:東中・木崎中)
決勝トーナメント準優勝(対:毛里田中・北の杜・藪中)*県大会出場
- ・ソフトテニス女子団体… 予選敗退(対:旭中・藪中)
- ・ソフトテニス男子個人… 荒木・清末ペア優勝、金澤・市橋ペア第3位 *県大会出場
- ・ソフトテニス女子個人… 萩原・高萩ペア第5位 *県大会出場
- ・バスケットボール男子… 1回戦敗退(対:北の杜)
- ・バスケットボール女子…1・2・3回戦突破(対:藪中、休中、木崎中)準決勝戦突破
(対:宝泉中)決勝戦敗退(対:太田中) 準優勝 *県大会出場
- ・バレーボール女子… 予選敗退(対:尾島中・北の杜)
- ・バドミントン女子団体… 予選敗退(対:宝泉中)
- ・バドミントン女子個人… 千田・堀越ペア第6位 *県大会出場

「もう負けか」と追い込まれからの粘り強さがキラリと光っていました！ 毎朝綿打LOVEです♡



綿打・生品合同チームで頑張りました！準優勝！



「バッチ来ーい！」の声が勇ましかったです！監督の声もスゴかった！



監督の熱意に応えて、粘り強く戦いました！



綿打・木崎・生品の合同チーム！綿打中の生徒の活躍がキラリ！



強敵の藪塚中を追い込む場面もありました！



緩急のあるプレーで相手を翻弄しました！



カバーし合ってボールをつなぎました！

学力向上に向け学習習慣の確立を！ できるヤツは時間をかけている…の法則!!

学力向上のためには、テスト前にしっかりと勉強をすることはもちろん、日頃の「学習習慣」を確立することが大切です。「学習習慣」の確立のために、綿打中学校ではフォーサイトを活用して、「生活習慣」を改善することにも取り組んでいます。

さて、中学生の毎日の家庭学習はどれくらい必要だと思いますか？

目標としては1年生80分、2年生90分、3年生100分です。テスト前は、さらに時間をかけなければなりません。1学期も折り返し地点を過ぎています。もう一度、家庭での生活習慣や学習時間の確立について、親子でも話し合いの機会をもってくださいませようお願いいたします。

手は体の外に出た=月読みをする、覚えないなら書かなきゃダメさ!!

＜先生たちも研修しています！＞



写真は6月3日に実施した校内研修の様子です。

今年度の研修主題は、「自ら学び、確かな学力を身につけた生徒の育成～自己調整力の向上に繋がる振り返りの工夫を通して～」です。綿打中学校では「授業改善」「学習習慣の確立」「寺子屋等による学習支援」の3つに重点を置いて学力向上に取り組んでいきます。

「授業改善」「学習習慣の確立」「寺子屋等による学習支援」の3つに重点を置いて学力向上に取り組んでいきます。

1年生 赤城学校

5月15日（水）、16日（木）に国立赤城青少年交流の家に宿泊し、「赤城学校（1年）」を実施しました。天候にも恵まれ、赤城山登山や覚満淵散策、キャンプファイヤー、かな箸づくり、館内フォトラリーなどを行ってきました。集団生活をとおして、協力することや主体的に行動することの大切さなど様々なことを学ぶことができました。



2年生 東京校外学習

6月5日（水）、「東京校外学習（2年生）」を実施しました。各班で計画を立て、興味がある場所を回りました。昼食をどこで食べるかについても、自分たちで話し合っ決めてました。時間通りに集合することもできて、すばらしいです。来年の奈良・京都旅行に向けて、班行動の練習ができました！

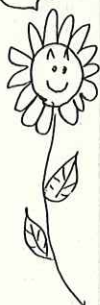


3年生 明日から修学旅行です！

6月11日（火）～6月13日（木）の2泊3日で、奈良・京都に行ってきます。バスや新幹線の中も楽しみです。次号で修学旅行の様子をお伝えします！

「ゴミ拾い」は「幸運拾い」 ～大谷翔平選手から学ぶ～

なるほど!



大谷選手が、グラウンドに落ちているゴミをさりげなく拾ったことがありました。彼は、意識してゴミを拾うようにしているのだそうです。一体なぜでしょうか。実は、尊敬している自分より年上の選手が、進んでゴミを拾う姿を見て、感動し真似をすることにしたとのこと。あるとき、彼が「なぜゴミを拾うのか」と聞かれると、「人が捨てた”幸運”を拾っている」と答えました。つまり、大谷選手は、ゴミだけを拾っているのではなく、自分にとって「良い”運”も一緒に拾っている」のです。この話を聞いて、なるほど…と思いました。ゴミを拾うことが「良い運を拾う」ことになるということは、ゴミを捨てることは「良い運を捨てている」こととなります。

さあ、ゴミが拾いたくなってきたでしょう？「幸運が落ちている！」と思って、気が付いた人からどんどん拾ってほしいと思います。もちろん、私（校長）も、そうしています。